

医学実習II 行動目標、チェックリスト

医学実習Iで経験した診療技能・耳鼻咽喉科検査法を**卒後臨床に生かせるレベルまで高めることを目標とする。**

1年目の研修医と同様の扱いとします。時間は不規則であることを理解してください。

へき地、離島、診療所等の地域医療を経験するため、学外実習を行います。

番号	チェック	卒後研修必須	タスク	方法	到達度
1		◎	側頭骨・副鼻腔・頸部 CT の解剖が説明できる	口述	/6
2		◎	頭頸部の診察ができ、記載できる	記述	/6
3		○	内視鏡を用いて声帯が観察(目標5回)	実地	/6
4		○	頸部超音波検査ができる(目標5回)	実地	/6
5		○	純音聴力検査、音叉による検査が施行できる(目標5回)	実地	/6
6		○	注視眼振検査、立ち直り検査、足踏み検査、カロリックテストが施行できる	実地	/6
7		◎	耳鼻科救急疾患の症候を述べ、対処法を説明できる	口述	/6
8		◎	診療録を POS に従って記載できる。	記述、観察	/6
9		◎	主訴、現病歴、既往歴などの問診が適切にできる	記述、観察	/6
10		◎	問診を基に問題点を抽出し、鑑別疾患、必要な検査を挙げることができる	記述、観察	/6
11		◎	担当症例の経過をカルテ、検査結果、診察により把握できる	記述、観察	/6
12		◎	把握できたデータを基に必要な処置、検査、投薬などを提示できる	記述、観察	/6
13		◎	手順に沿って適切に手洗いできる	実地、観察	/6
14		◎	ガウン、手袋の着用が清潔にできる	実地、観察	/6
15		◎	注射、切開、結紮、縫合などの基本手技ができる	実地、観察	/6
16		◎	採血(目標3回)	実地、観察	/6
17		◎	導尿(目標3回)	実地、観察	/6
18		◎	ドレーン管理	実地、観察	/6
19		◎	胃管の挿入・管理	実地、観察	/6
20		○	咽頭手術の助手	実地、観察	/6
21		○	喉頭手術の助手	実地、観察	/6
22		○	中耳手術の助手	実地、観察	/6
23		○	鼻副鼻腔手術の助手	実地、観察	/6
24		○	頭頸部手術の助手	実地、観察	/6
25		○	分かりやすいレポート作成ができる	記述、観察	/6
合計	/25				